

科目名	造園計画							年度	2025
英語科目名	Landscaping plan							学期	後期
学科・学年	土木・造園科 1 年次	必／選	選3	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	高橋 真弓	教員の実務経験		有	実務経験の職種		造園設計		
【科目の目的】 造園設計の基本原則とプロセスを学生に理解させることです。学生は、実際のプロジェクトに応用可能な造園の理論と技術を習得し、自然と調和した持続可能な造園空間を設計する能力を育成します。また、植物材料の選定、土地利用の計画、エコロジーへの理解を深め、実際の造園プロジェクトでの問題解決能力を養います。									
【科目の概要】 この授業では、造園の歴史、設計理論、実践方法について学びます。カリキュラムは、造園の歴史的背景から始まり、現代の設計技術、持続可能な造園方法、公共および私的空間での造園設計まで幅広くカバーします。授業は、講義、ワークショップ、ケーススタディの分析、そして実際の設計プロジェクトによって構成され、学生が理論と実践の両方を経験できるようにします。									
【到達目標】 理論理解：造園の歴史および理論的背景を深く理解し、それを現代の設計に応用できる。 技術習得：様々なタイプの造園プロジェクトで用いられる設計技術と実践方法をマスターする。 創造的設計：学生自身の造園設計案を創出し、それをプレゼンテーションとして展開できる能力を培う。 問題解決：実際の造園設計課題に対して、環境的、社会的、文化的要因を考慮に入れた持続可能な解決策を提案できる。 協働作業：チームで協力し、集団内でのコミュニケーションと協調を促進するスキルを養う。									
【授業の注意点】 「学び」の姿勢を身につけることを重視するため、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。やむを得ず欠席した場合は、自ら申し出て、授業内容を確認し、取り返す努力をすること。授業時間数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている		レベル3 ふつう				レベル1 要努力		
到達目標 A	造園の歴史と理論を深く理解し、新たな視点で解釈できる。		造園の理論と歴史を理解し、適切に説明できる。				造園の基本概念を識別できるが、詳細は不明瞭。		
到達目標 B	造園の歴史と理論を深く理解し、新たな視点で解釈できる。		多様な設計技術を自立して適用できる。				基本的な設計技術を使えるが、助言が必要。		
到達目標 C	造園の歴史と理論を深く理解し、新たな視点で解釈できる。		複雑な要素を取り入れた設計案を作成できる。				単純な設計案を作成できる。		
到達目標 D	造園の歴史と理論を深く理解し、新たな視点で解釈できる。		複合的な問題に対し、複数の解決策を提案できる。				基本的な問題に対して一般的な解決策を提示できる。		
到達目標 E	造園の歴史と理論を深く理解し、新たな視点で解釈できる。		チーム内で積極的に貢献し、一部の活動をリードできる。				チーム活動に参加はするが、主導はできない。		
【教科書】 配布プリント等									
【参考資料】 特になし									
【成績の評価方法・評価基準】 授業への取り組み、期末試験の結果等を総合的に評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

